

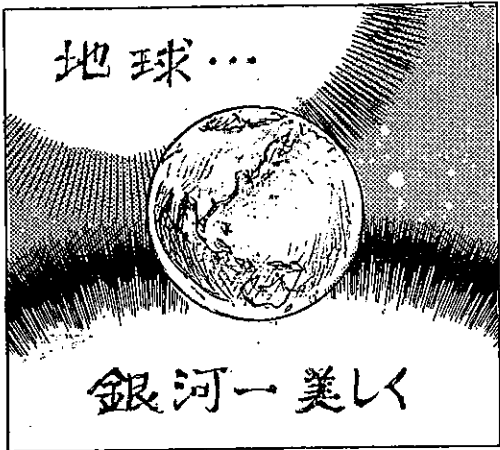
くるくる

= ESDって何だろう =



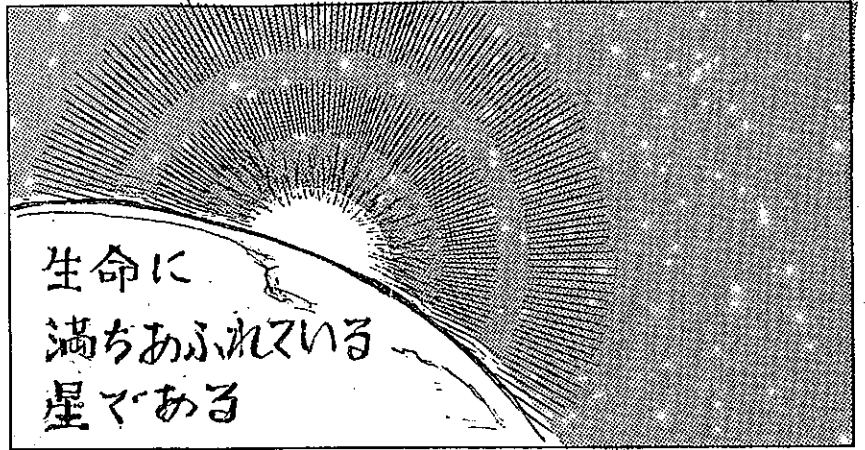
北原りゅうじ

渋谷教育学園 渋谷中学高等学校



地球…

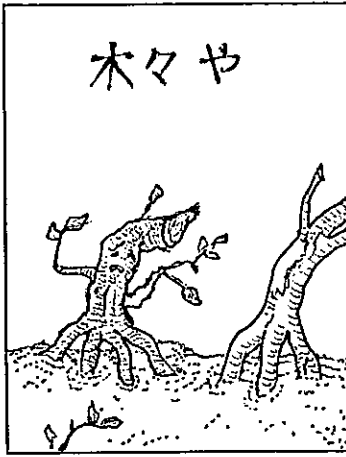
銀河一美しく



生命に
満ちあふれている
星である



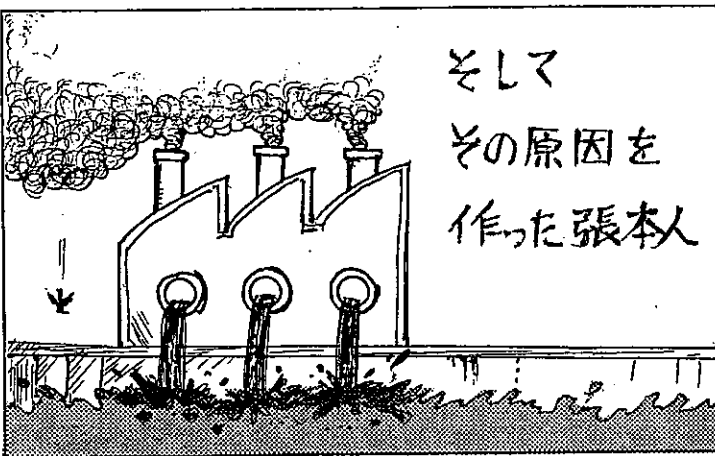
だが その表面では
生きものたちは 苦しんでいた



木々や



動物たち



そして
その原因を
作った張本人



人間もまた 苦しんでいる



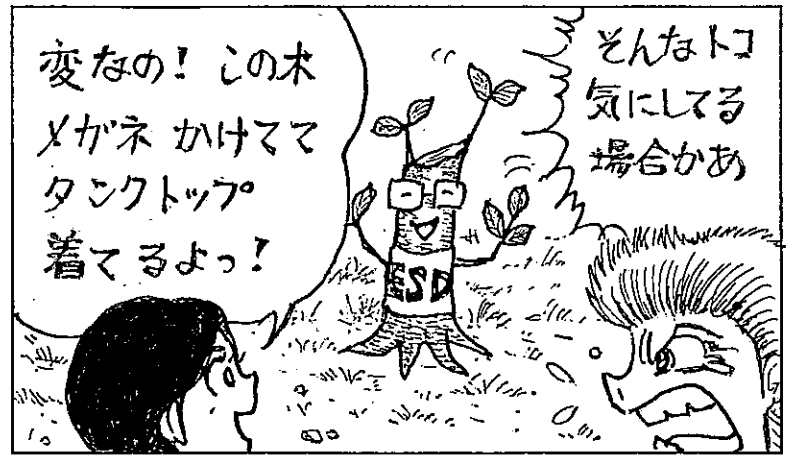
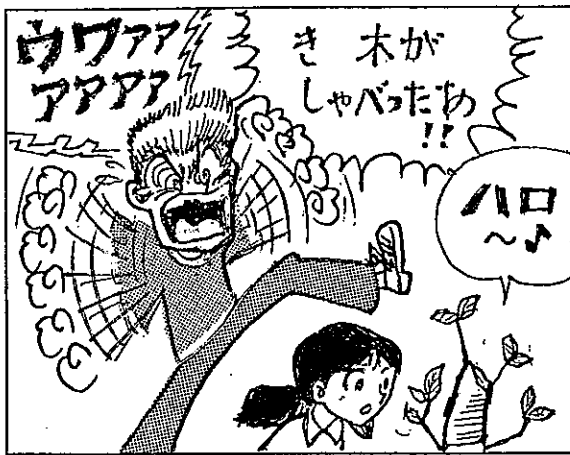
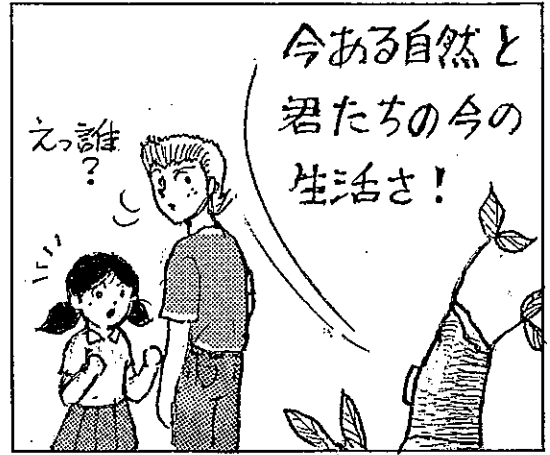
おいっ! 二酸化炭素を
出しすぎるんじゃない!

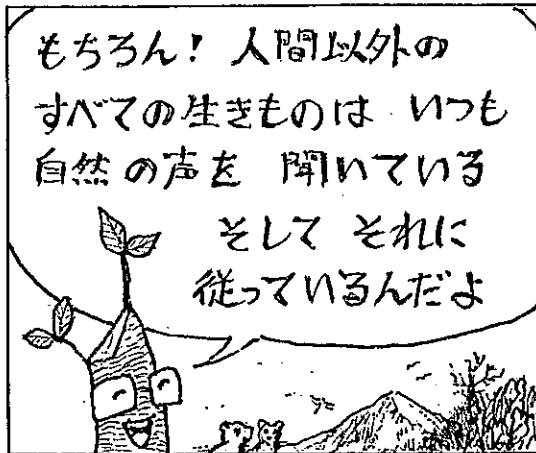


汚辱のためだ!
仕方ない
だろっ!!

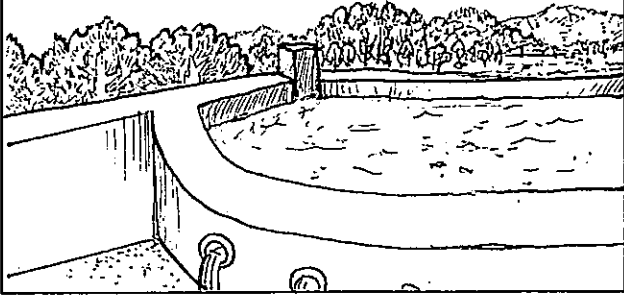


バカ
があ!! お前だって
前はもっと
出したさ!

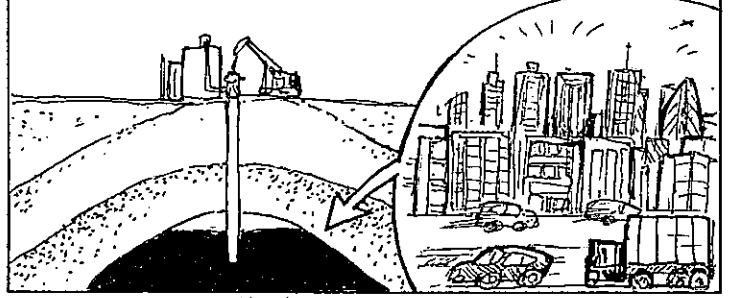




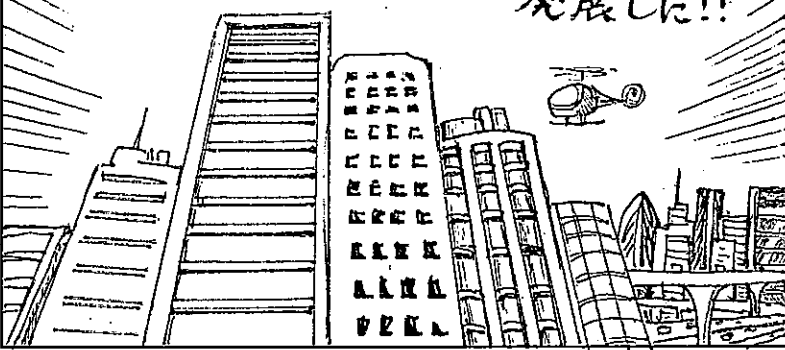
水を得るために
人工の湖を作ったり



都会の生活を維持するために
たくさんの石油を使ってきた



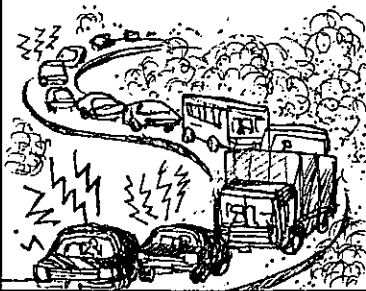
結果として人間の社会はものすごく
発展した!!



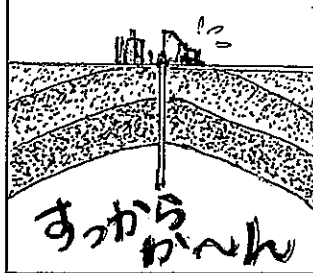
ただ人口もものすごく
ものすごく増えた



なのでますます多くの
石油が必要になった



でも石油は
なくなりつつある



あっ
限界か?!



終わりが
迫っているのは
石油だけじゃ
ないんだよ



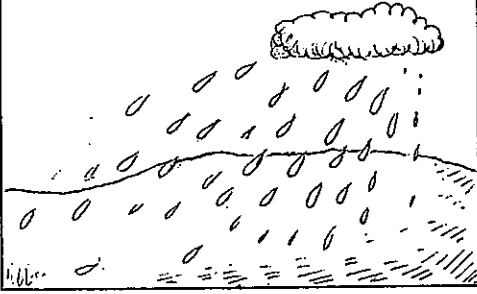
人の数が増えれば増えるほど
家や食料が必要になる



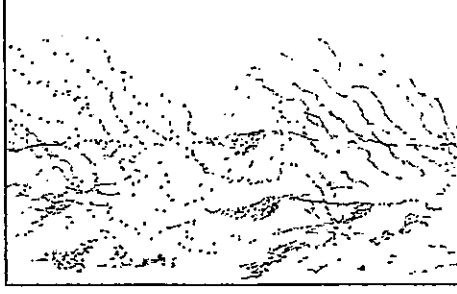
家や畑をつくるためにますます
たくさんの木が切り倒されている



木のない土地は水を十分に貯えておくことができない



かつて森だった土地は砂漠になってしまった



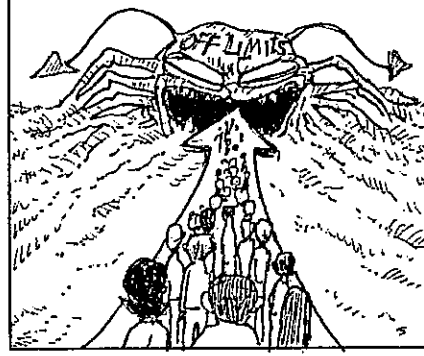
砂漠は広がっているんだよ



砂漠の上じゃ生きられないよぉ



死への行進だ



どうやら止められるの!?



ほら胸に手をあてて



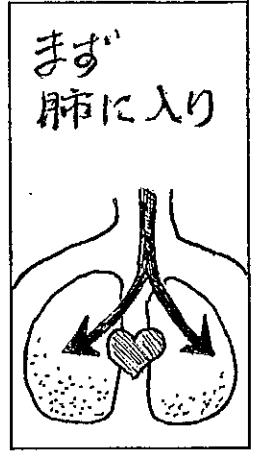
自然の動きあり方を感じてごらん



君が吸う空気は



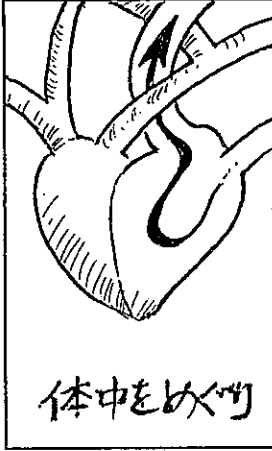
まず肺に入り



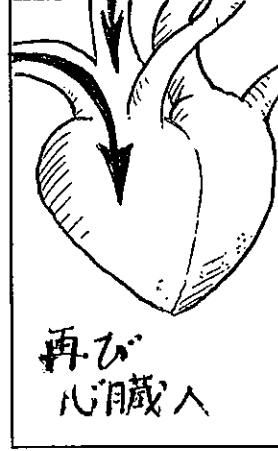
次に



心臓へ行き



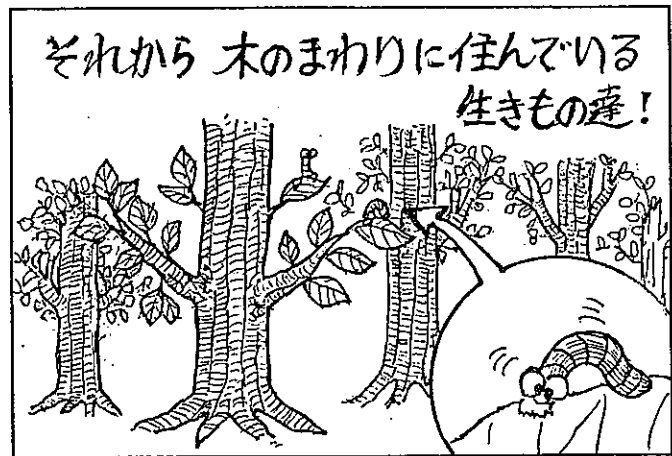
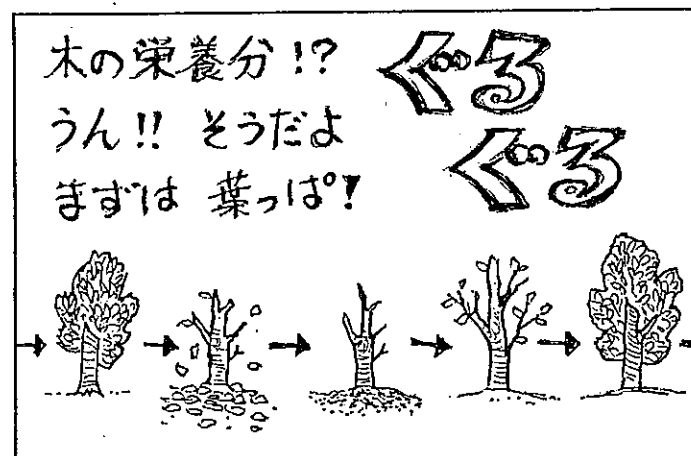
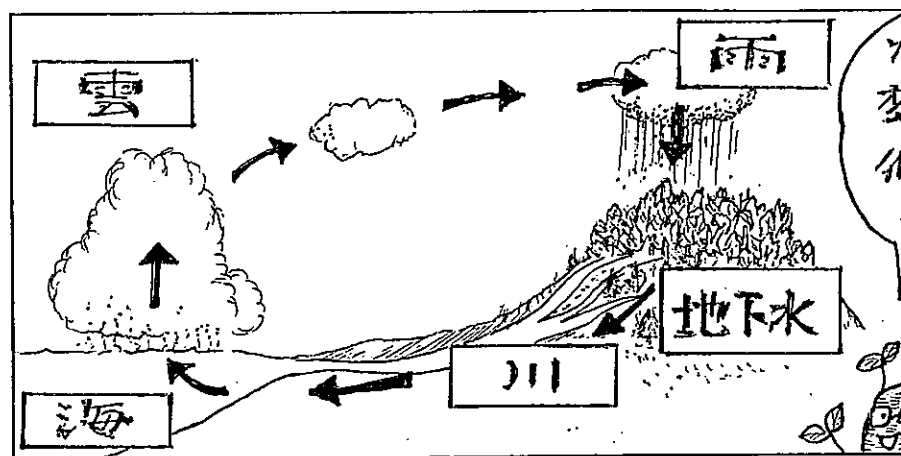
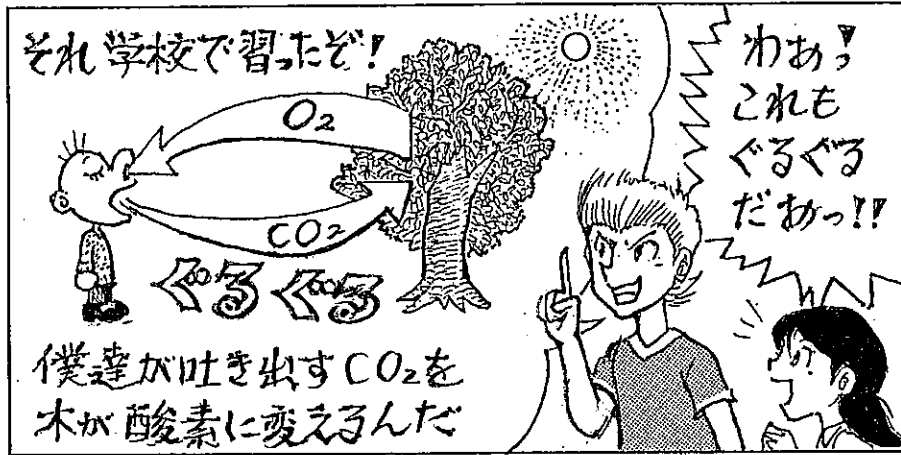
体中をめぐ

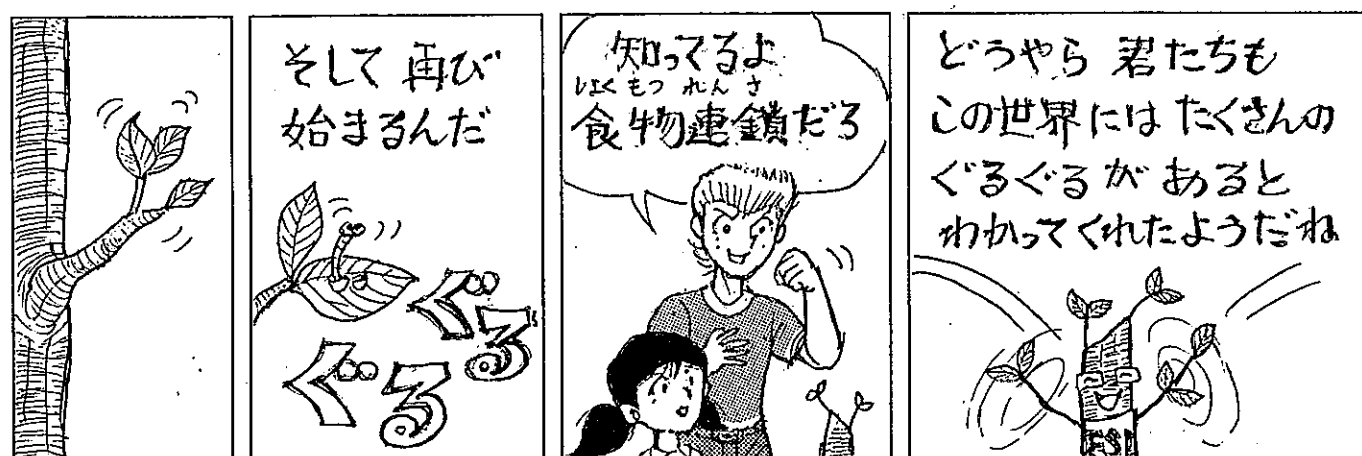
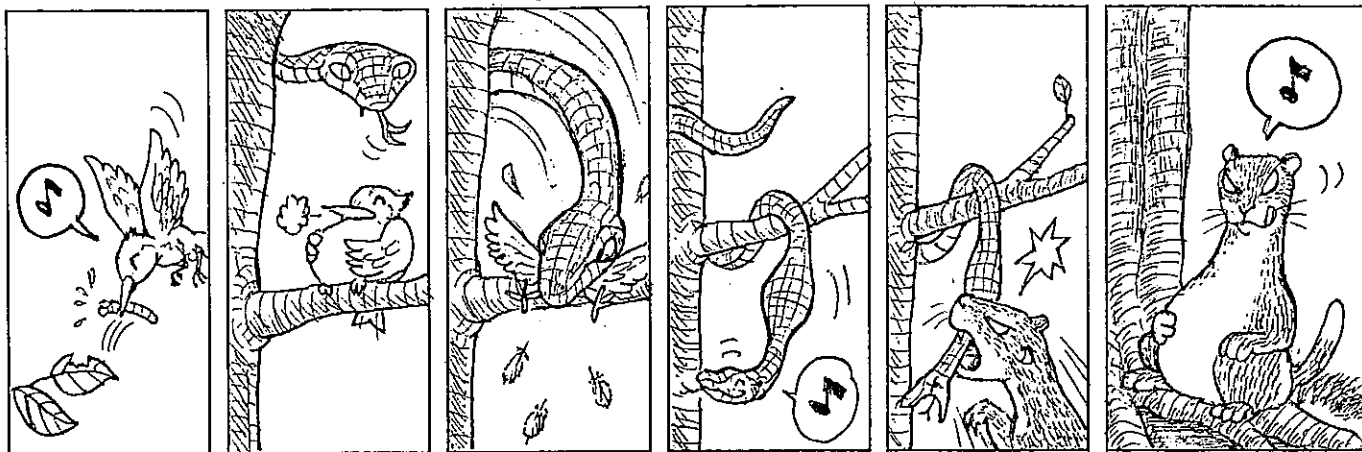


再び心臓へ

そして肺へと戻って来る









人間は 村をつくり
穀物を育てるようになり

やがて 町を
そして 都市を作った

人間が行うことは
すべて 自然現象なんだ

人間が環境を
破壊することも 自然現象
だって言うのかい
!??

「そう
だよ!

なんで
!?

なぜなら 人間も
自然の一部だから

シロアリが箱舟を
沈めてしまうように
人間は自然を破壊
しつくしちゃうんだぞ!!

そうは
思わない
なあ

な. なんだよ
?

だって自然は
君たち人類に
考える力
「知恵」を与え
たからさ

君たちは自分自身を
客観的に考える
ことが できる.

我々は
間違えて
いる!

やめ
なさい
やめた!

そして 進んで
問題を解決
しようとする

空気を
清くすな

水を

森を
守れ

子ども
未来

さらに人間にはすぐれたところがある
それは他者の幸福を願うという点だ

他の人間のこ
とだけでなく

他の種のこと

自然は 僕たちが
何をすべきか 自分から
考えるのをずっと待た
ているってことがあ

そのとおり！ として
すでに多くの人間が
そのことに気づいている
世界を変える!!

人間が自分たちの誤りに
気づき 行動を起こす...
これらも 全部 自然現象

そして君たちも
すべきことに
気づいた
よね

うん 私たちが
やるべきことは
人間が壊した
ぐるぐるを
直すこと!

けど どうやって？ 都市をぶっつぶして
そこを森林にするなんて
できないだろ

そうだよな
人間は これまで築いてきた
文明を捨てられない
私も 原始人には戻れ
ないし

循環が大切だて
ことは わかったけど
かといって
何もできない

そうだよなァ よし
君たち ビーバーを
知っているよね？

ビーバーも 環境を
変えちゃうんだよ

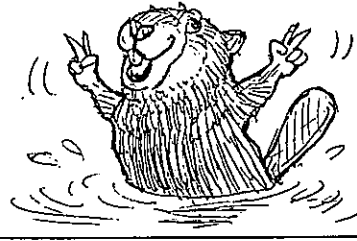
彼らがダムを
作ると それまでの
生態系が
壊されるんだ

No

しかしその後ダムを中心に
新しい生態系 新エコシステムが
生まれるんだ



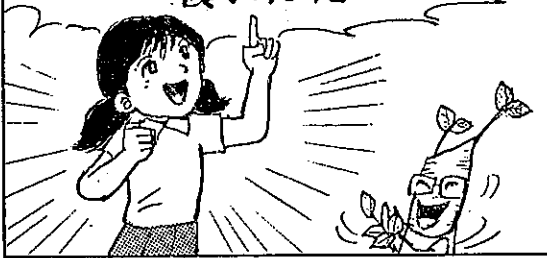
だからビーバーは
「生態系リーダー」と
呼ばれている



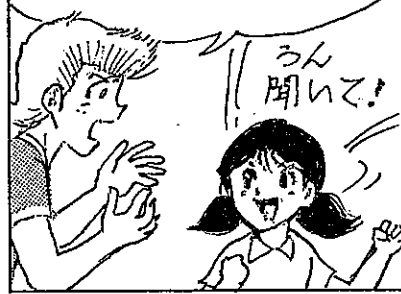
新エコシステム!
生態系リーダー
!!



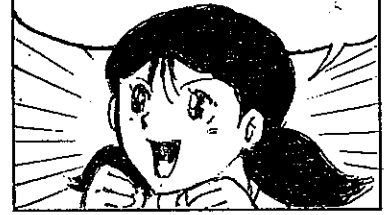
私たち人間も
生態系リーダーとして
新エコシステムを作れば
良いんだ



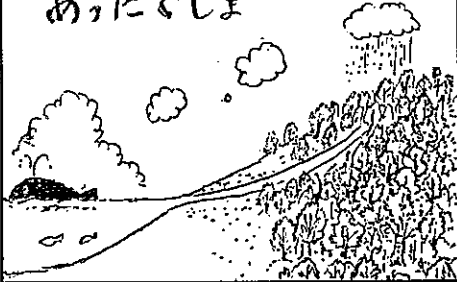
新エコシステム?
何言ってるの?



やっぱり私たちが
自然の一部になって
生態系を作らないと
ダメなんだよ



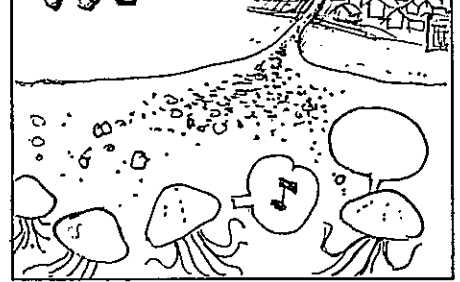
昔 地球には
ちゃんとした生態系が
あったでしょ



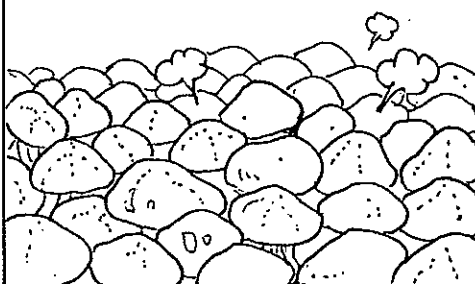
人間が山と海の間
に都市を作って
それを壊した



例えば川にゴミを
捨てるように
なると



それをエサにして
クラゲがいっぱい増え



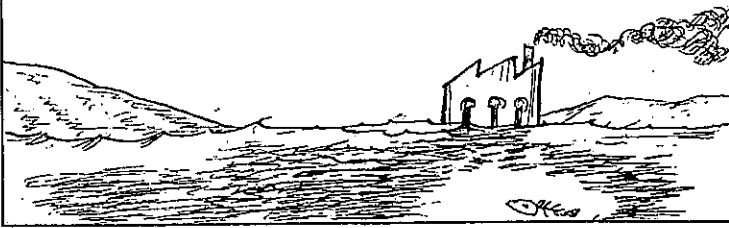
海中の酸素が
減って魚が
たくさん死んだ



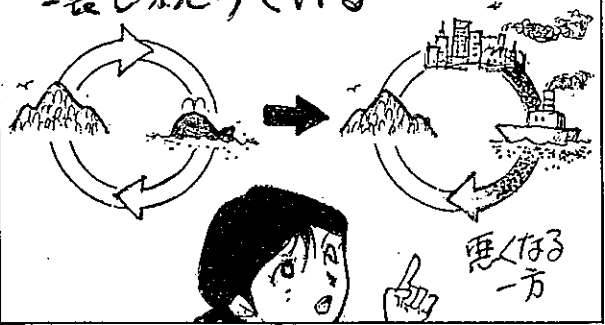
もっとひどいのは
有毒物質を海に
捨てる人間もいて



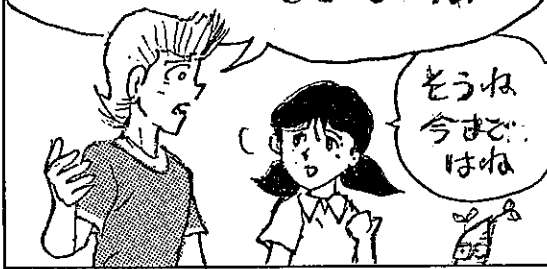
そのために 環境が ひどく
破壊され 川や海から たくさんの
生き物が 消えていった。



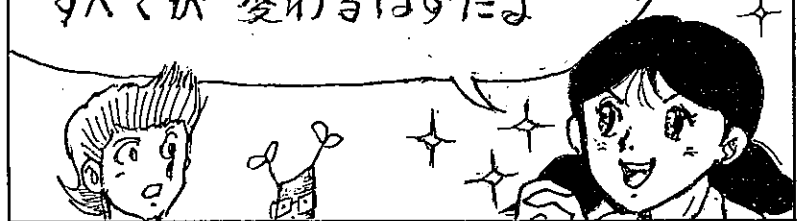
人間は 今も自然を
壊し続けている



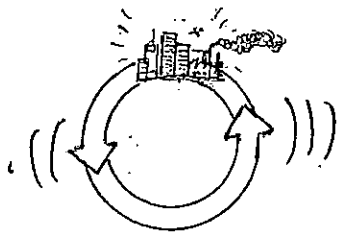
どうなんだよ 人間社会は
生態系にとって 障害で
しかないんだ



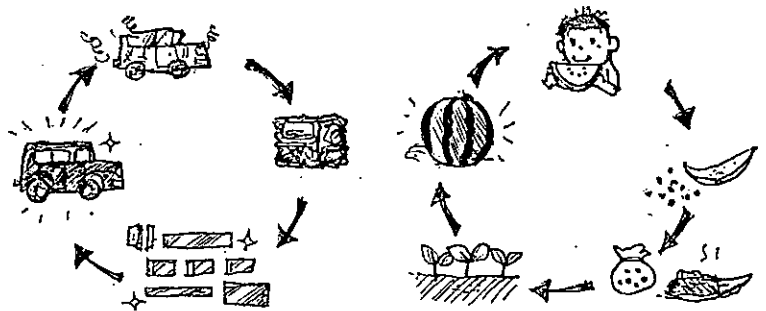
でも人間も自然の一部という
考えに基づいて
新エコシステムを作れば
すべてが 変わるはずだよ



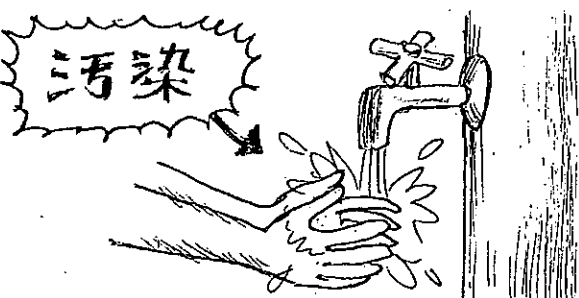
つまり人間社会も
ぐるぐるの中に
入れちゃえばいいよと



ゴミのリサイクルはすでに
いるんな所で 行われているでしょ

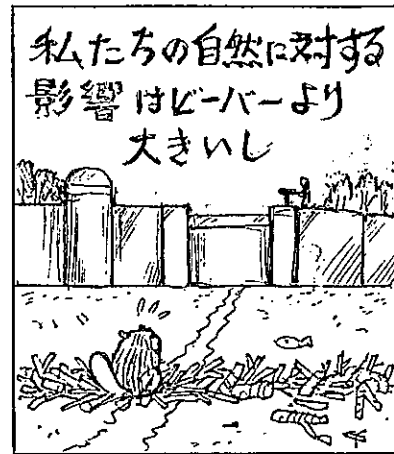
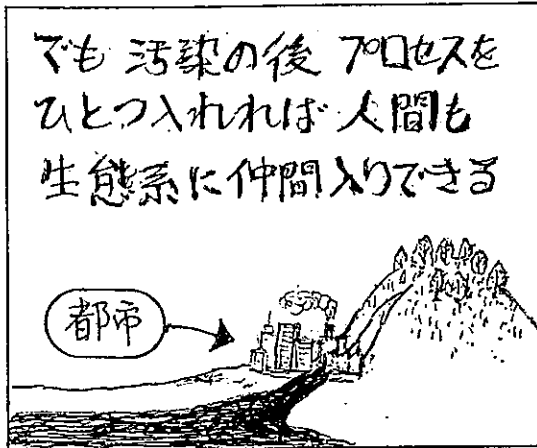


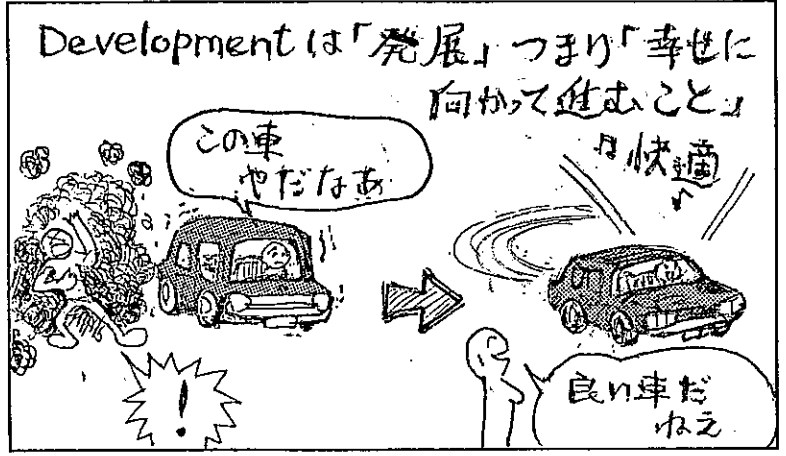
同じように人間の活動全てを
ぐるぐるの中に取り込めば良いよ



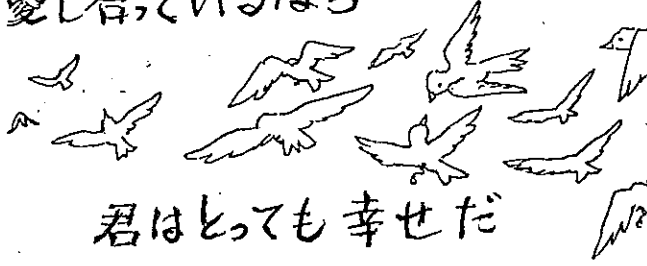
例えば 水! 人間が都市で生活すれば
どうしても水を汚してしまう
それは避けられ
ないよね







もし君が社会の一員でめると感じ
君と他の人々が助け合い尊敬し合い
愛し合っているなら



全人類がそんな
幸せな生活を送る
ことができるって？



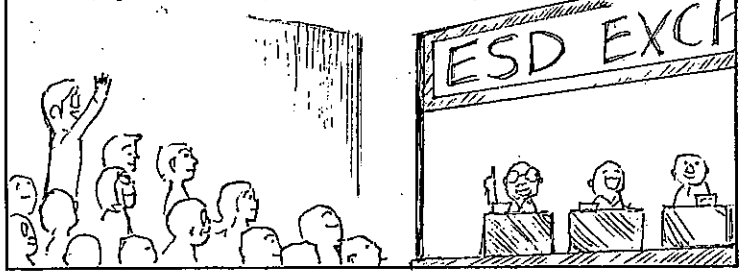
不可能だ！
単なる夢だ！



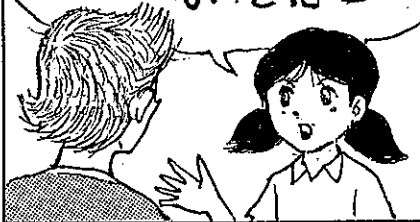
もし人間が他者のことを全く
考えないような動物だったら
今のような社会を築けなかつた
だろう



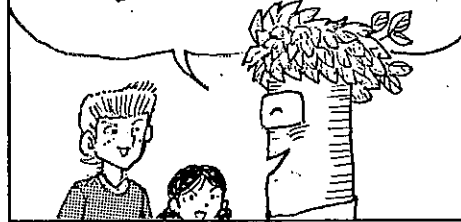
人間は理想を持ち それを追求する！
より良い世界を築こうとするのも
理想につき動かされているからだ



時間はたくさん
かかるかもしれないけど
私も不可能じゃ
ないと思う



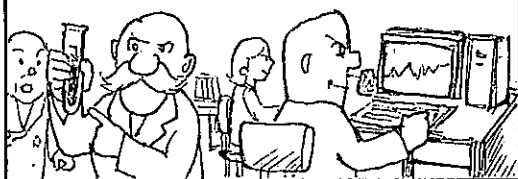
うん もし人間が皆
ぐるぐるサイクルの中で
生活するようになれば
理想は実現できるよ



新エコシステムの実現
自体 不可能だと
思うよ



だってたくさんの科学者が
そのようなエコシステムを
構築する方法を研究
しているけど

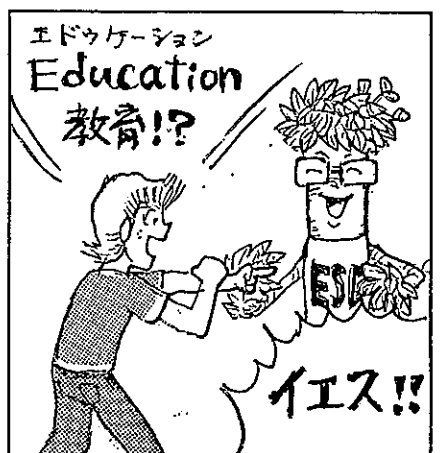


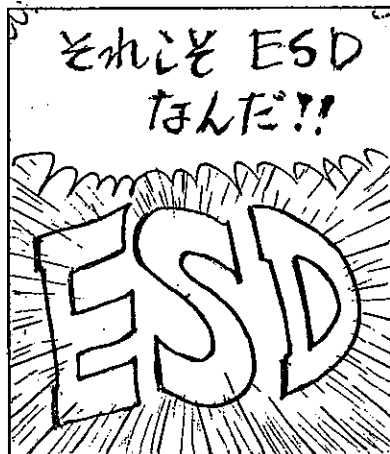
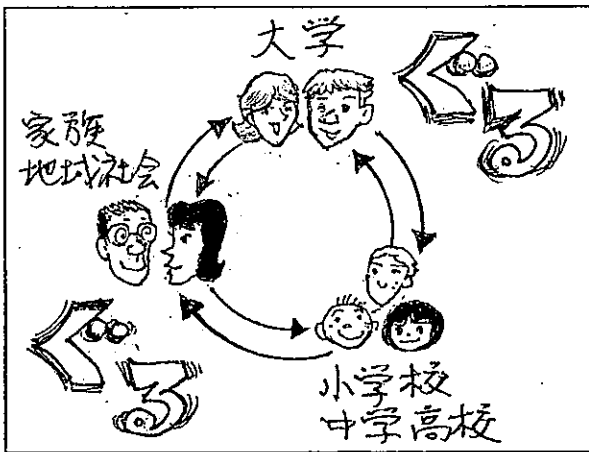
たとえ何か良い
ものを見つけても
それは世界中の人々を
幸せには
できないよ



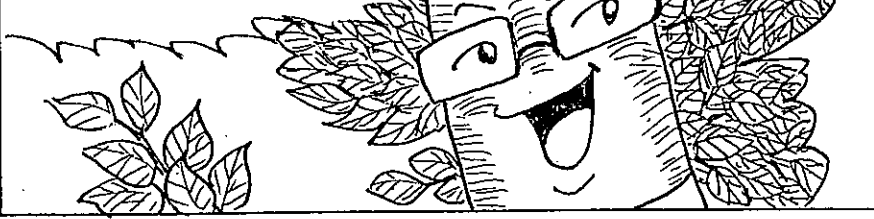
実際 科学者たちの
意見を無視して
自然破壊を続けて
いる人はたくさんいるよ





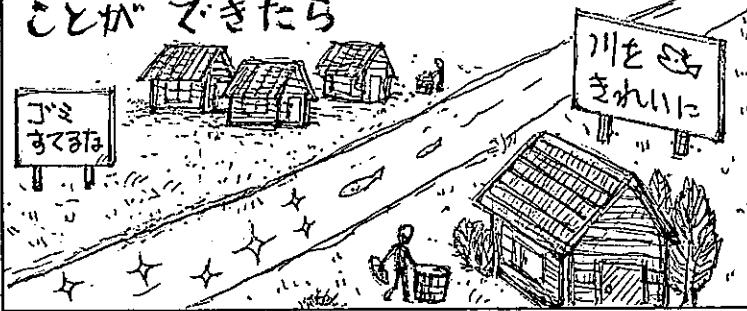


エデュケーション フォー サステナブル
Education for Sustainable
 ディベロップメント
Development !! ESDで
 理想は 現実になる!

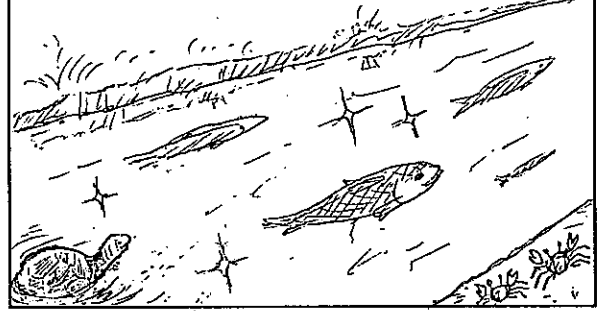


エコシステムだけでなく
 人間関係におけるも
 ぐるぐるを築くことが
 できたらそして お互いに
 知識を交換し他の
 人たちに 自分の経験を
 伝えることができたなら

これから 自分のコミュニティー地元社会で
 自分ができる何らかの活動をする
 ことが できたら



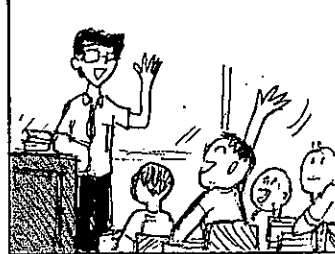
新エコシステムは
 機能し始めるんだ!!



知識の
 交換?



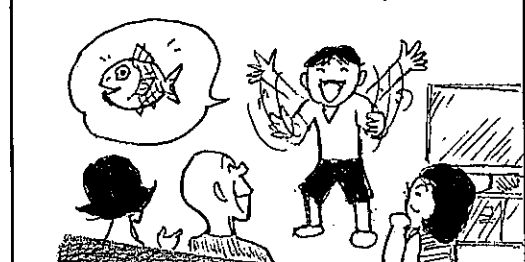
学校では
 君が知っていることを
 皆に紹介しよう



もし専門家や大学の先生が
 君の学校に来てくれたら
 それは何か新しいことを
 学ぶチャンス!!



そこで学んだことは
 帰宅後 家族に
 話そう



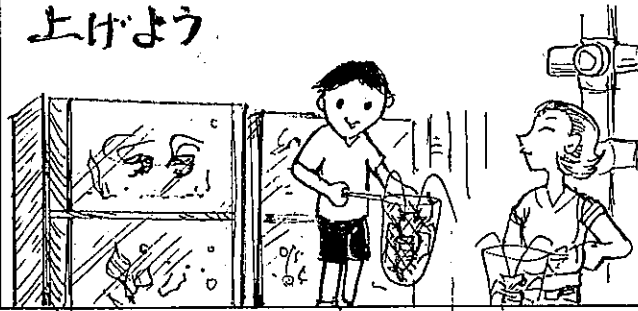
また 友達や
 近所の人たちにも



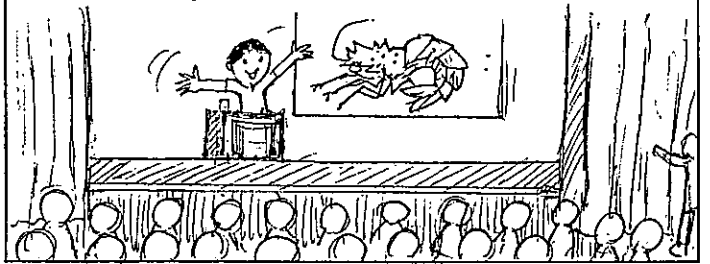
自分か会った人には
 誰にでも伝えよう



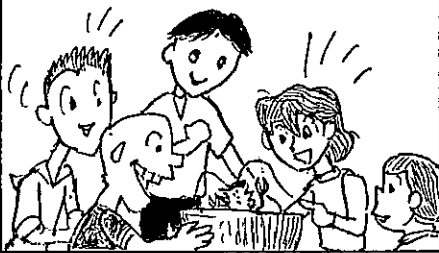
行動もまた重要!!
実際に何かやて 経験値を
上げよう



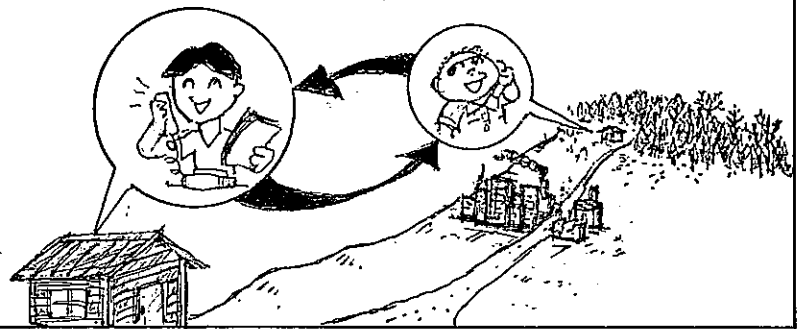
そして自分の経験をできるだけ
多くの人たちに とんとん 紹介
していこう



まずは自分のまわりの
人たちに



さらに 君の町から離れた所に住んでいる
人々に あるいは 外国の人たちにも



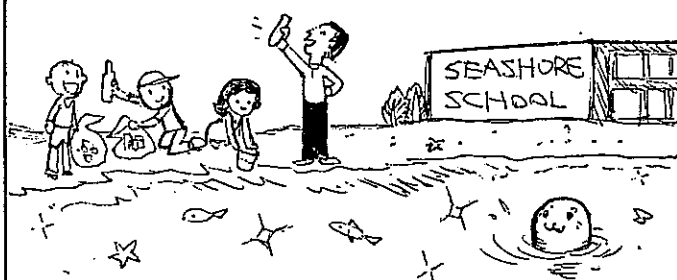
違う町? 違う国?



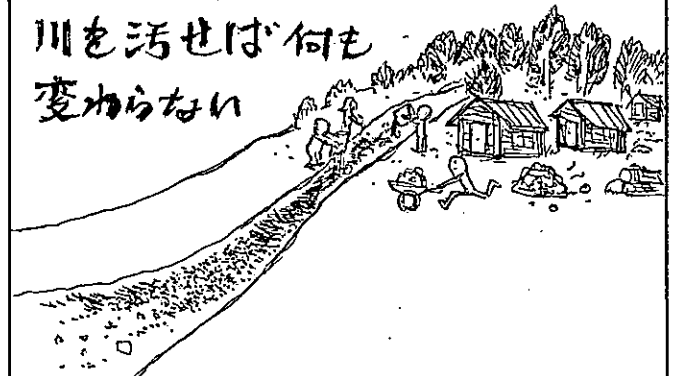
地球上のすべてのものは
お互いに つながっている



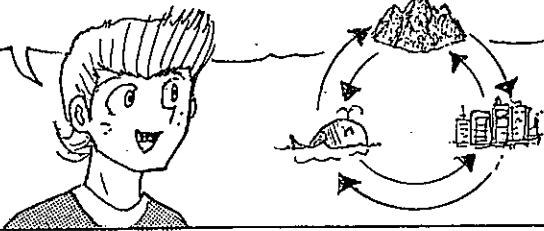
君たちが がんばって
海岸をきれいにしても



もし山側に住んでいる人たちが
川を汚せば何も
変わらない



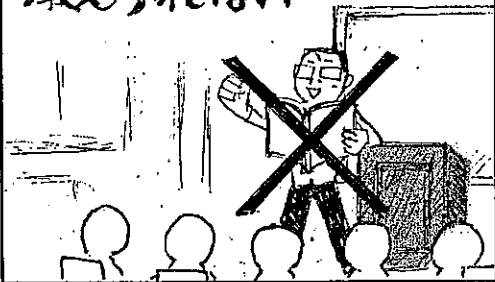
なるほど 山と都市と海の
人たちは お互いに 協力しないと
ダメなんだね



あらゆる知識と経験が
いっしょになった時 その時
SD 持続可能な発展が
現実のものとなるんだよ



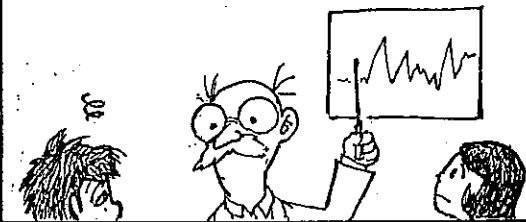
だから ESDは学校で
ひとつの教科としては
教えられない



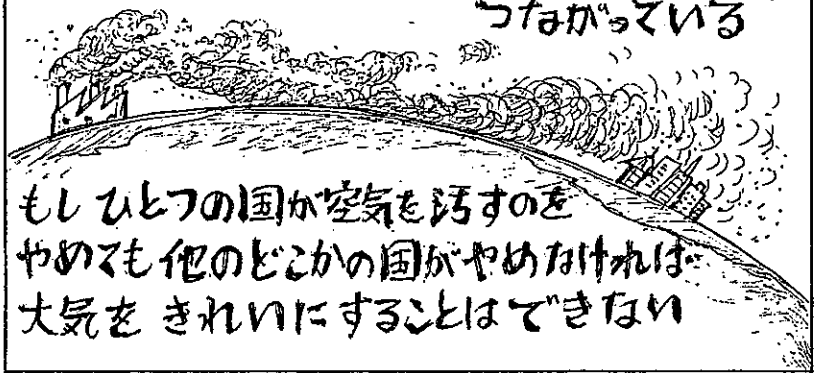
例えば生徒たちが大気汚染の問題を
どう解決したらいいかを学ぼうとするなら
おそらく10人の違った教科の先生が必要だ



この問題は
科学的知識だけでは
解決できない



地球上のすべての国は空で
つながっている



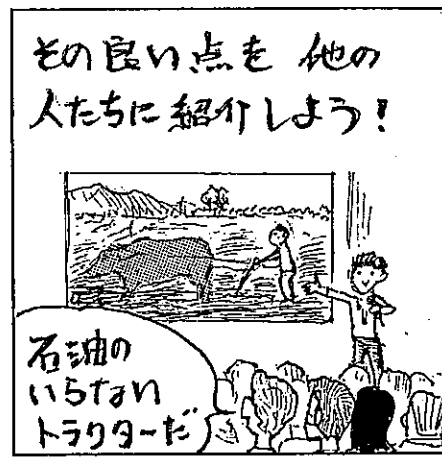
もしひとつの国が空気を汚すのを
やめても他のどこかの国がやめなければ
大気をきれいにすることはできない

いっしょにやろうと他の国を説得するには
デベートの練習も必要だが
その国の文化 歴史 地理的特徴など
いろいろのことを学ばなければならぬ

もしその国が発展途上国なら経済学や政治学を
学ば 問題を解決するようサポートしなければ
うまくいかないだろう

今うちの国では
環境より経済が
大切なのだ

その国の
言語



学校に行けない子供たちがたくさんいる国では
お母さんたちの知識不足のために



毎年 多くの赤ちゃんや
幼い子供たちが命を落として
しまう



もし 世界中の子供たちが
学校に行けるように
なったら



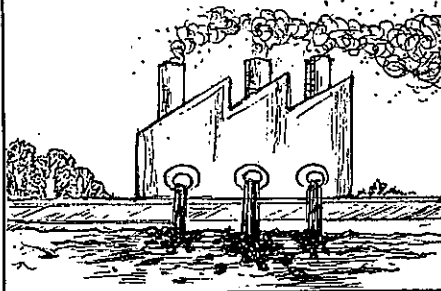
たくさんの命が救われ



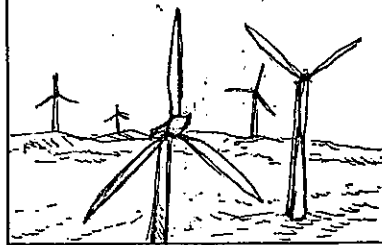
問題解決の可能性も
高くなるのに...



ESDは
環境教育だけでなく



エネルギー教育や



国際理解教育や
異文化理解教育



平和教育



そして 基本的人権についての教育も
含まれるんだ



なぜなら ESDのゴール
ESDが 目指すのは



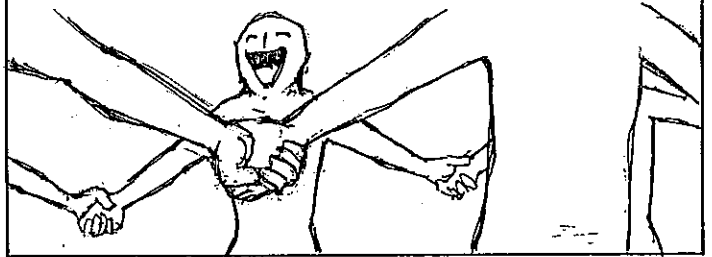
地球上のすべての人々が平和に
暮らせる世界を作ること



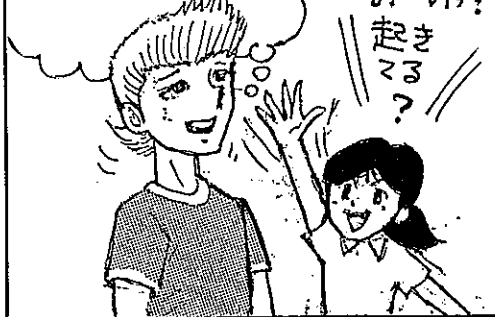
そしてそのために新システムを
作ること...



すべての人々によって作られる無数の
ぐるぐるに支えられている生態系を
作るからだ!!



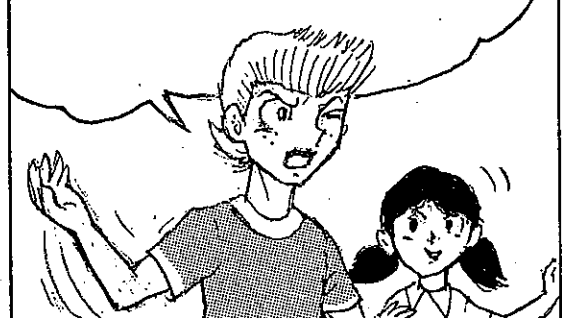
すべての人々が
幸せに...



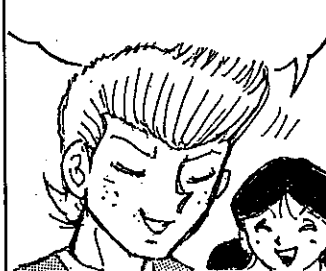
何を考えて
いるの?



そんな世界が本当にできるか
どうかは わからない

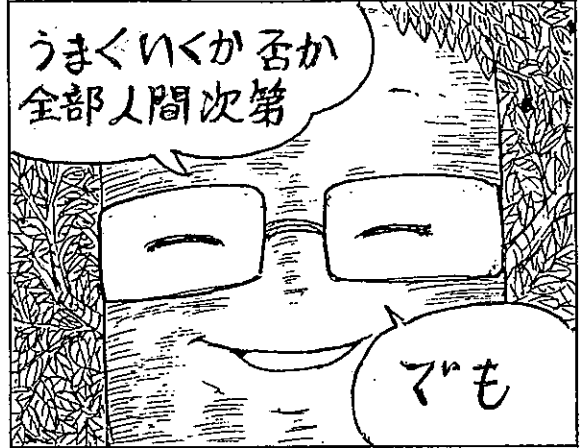


でも
やってみる価値は
あると思うよ



よし!
まずは
行動
だよな、

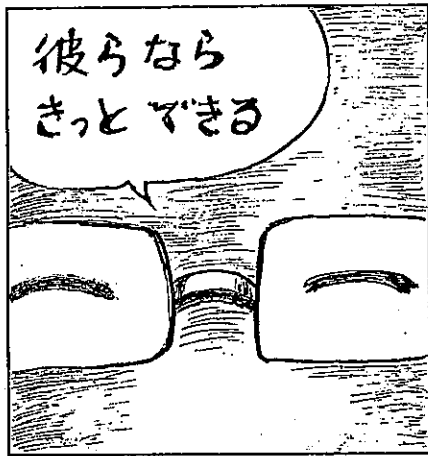




うまくいくか否か
全部人間次第

みんな
幸せそうだ

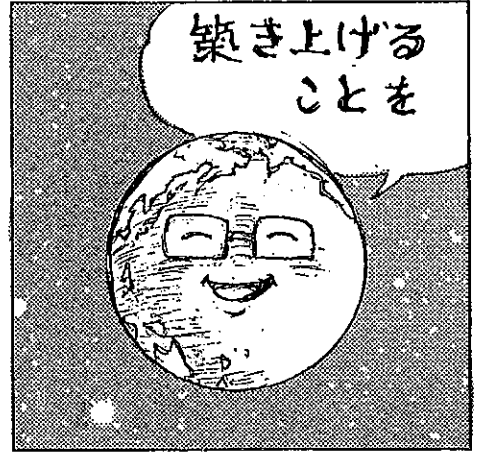
でも



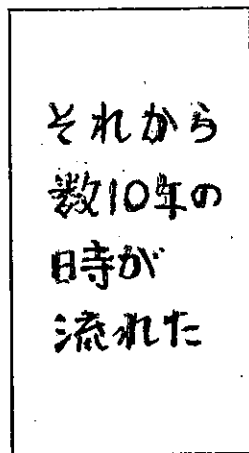
彼らなら
きっとできる



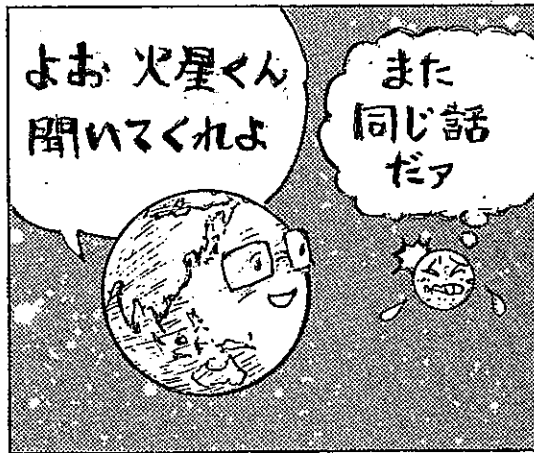
新しいエコ
システムを



築き上げる
ことを



それから
数10年の
時が
流れた



よお火星くん
聞いてくれよ

また
同じ話
だよ



ぐるぐるワールドを
作るのに成功した
...



地球
銀河一美しく
そこに住む人間たちが
リーダーとなって生態系を
大切に守っている
星である

子どもたちの
話を

君は彼らを
誇りに思っ
ているんだね

おわりに

2002年、「持続可能な開発に関する世界首脳会議(ヨハネスブルグサミット)」において日本は「持続発展教育(ESD)の10年」を提案、続く第57回国連総会では、2005年からの10年間で「ESDの10年」とする決議案を提出、満場一致で採択されました。この国連決議で、ユネスコが「ESDの10年」の推進機関として指名され、その後、日本では、日本ユネスコ国内委員会や関係省庁が協力し、ESDの推進のための取り組みを行っています。このように「ESD」は国連、日本政府が共に推進している教育界の最重要課題なのです。

それを聞いて「えっ、そうだったの?」と思った人、「ESD」という言葉は知っているけど具体的にはよくわからない。」という人、あるいは「全く聞いたことがない!」という人もいたかもしれません。ユネスコスクールはもちろん、日本中の学校が、行事、教科、研修などでESDに取り組んでいるので、皆さんは誰もがESDに参加しているはずですが、それを自覚している人はそれほど多くありません。学校で行われている各活動が全てひとつの大きなゴールに向かってつながっています。そのことを知っているのと知らないのとでは大違いです。例えば、テニスの試合に出場すると決まったら皆さんは腕立て伏せなどの筋トレにも積極的に励むでしょう。そこで良いプレイをするためには他に何かできないか自分でいろいろと考えるかもしれません。しかし、何の目的も示されず、ただ「毎日、腕立てをしなさい」と言われたらどうでしょうか。同じように一生懸命にはできませんよね。「ESDとは何か」が明確になっていれば、その取り組み方も変わる。私はその効果を期待して、この「ぐるぐる=ESDって何だろう」を作成しました。

本書では、『ESDとは、大中小、3つの「ぐるぐる」を作り上げることであり』と結論付けています。「一番大きなぐるぐる」は、全人類が幸せに生きていくことが出来る「新エコシステム」を構築することです。これを成し遂げるには、個人個人がバラバラに活動していても上手くはいきません。それぞれの能力や知識を生かして地球規模で協力していかなければなりません。そこで必要となるのは、人間の輪です。他の人たちとお互いにアイデアや成功例の紹介をし合えるような輪を作ること、これが「中のぐるぐる」です。そして、その「中のぐるぐる」を回していくためには、個人個人が、自分のアイデアをもとに行動し、その結果を誰かに伝えて意見をもらい、それを参考に新しい考えを捻出していくという態度、習慣が必要です。これが「小のぐるぐる」ですね。

学校生活の中には、「中のぐるぐる」、「小のぐるぐる」を回す力を伸ばしていく機会がたくさんあります。意識してその力を磨いていって下さい。そして、毎日の各教科の授業の中には「大きなぐるぐる」である新エコシステム構築を実現させるためのアイデアのもとになるものがたくさん転がっています。マンガにも描きましたが、それを見つけて輝かすことができる力は若者の方が強いようです。いつも3つのぐるぐるについて考えながら、授業、行事、部活など学校生活を楽しんで下さい。特に自分が好きだというものを見つけて深めて下さい。それが人類、さらには地球を救うことにつながっていきますので。大袈裟ではなく、本気でそう思っています。若い皆さんの脳は柔軟性に富み、可能性も無限大です。

北原りゅうじ

ぐるぐる = ESD って何だろう=



渋谷教育学園渋谷中学高等学校

この「ぐるぐる＝ESDって何だろう＝」は、「第10回 自己表現力コンクール」の大賞作品「Guru guru ～What's ESD?～」に加筆し、改訂したもので、平成22年度文部科学省委託「日本／ユネスコパートナーシップ事業」ユネスコスクールにおけるESD普及促進活動（通称：学校&みんなのESDプロジェクト）によって制作されました。